

イベントの誘客効果は



町 大きな役割を果たしている



噴煙を上げる茶臼岳は
監視重点火山に



多くの人が盛況の九尾まつり

問

官民を問わず土、日曜日には多くのイベントが開催されている。イベントが開催されていないとき、閑古鳥が鳴くようでは、地域の活性化にはならない。イベントは那須町の誘客宣伝にどのような効果をもたらしているか。

観光商工課長

一例を申

し上げると、町の最大のイベントである「那須九尾まつり」、本年度第12回を数え、毎年9月末の日曜日には町外から多くの来場者にお越しいただいている。町外者の割合が約70%で、このうち全体の18%は、知人からお祭りがあることを知ったというデータが出て

いる。
また、リピート率も高くて、来場者の満足感が知人などに伝わって拡散していくので、イベントは、本町の誘客にとって大変大きな役割を果たしていると理解している。

避難勧告の基準は

町 気象庁等と連携を図る

問 火山の爆発は、本当にいつ起こるのかわからぬ状況の中で、避難勧告というのが、大きな要素になる。勧告の具体的な基準は。

総務課長 一概にその避難勧告等の基準はないが、水蒸気噴火は、基本的に噴

火口から直線距離で2.5km程度までが危険区域となる。那須岳の場合、恋人の聖地より上には、水蒸気噴火の際、灰が降ると考えられる。今回の御嶽山についても、噴石直撃で亡くなつた方が多數いると聞いていたが、那須岳については、山頂半

径が500mの円内と考えている。また、御嶽山の場合には、直前に避難勧告を出す時間的な余裕が現実的にはなかった。これら防災対応については、気象庁等と連携を図りながら進めていく。